

【昼休みに行う「文を短く書く力を鍛えるためのトレーニング」】

1. 短い文を書くことは重要

記述式試験の合格に必要な重要なキーワードは“短”です^{注1)}。つまり、「短く考える」と「短い文を書く」です。短い文を書くことは重要です。短い文で書くことで内容が明確に伝わるからです。以下のⅠとⅡの文を比べればこのことがわかります。

Ⅰ：課題は、DXを推進することができる技術を持った人材を確保することである。

Ⅱ：課題は、DXの推進ができる技術を持った人材の確保である。

Ⅰのような冗長的な文を書くと内容が頭の中にぼんやりと入ってきます。そのため、内容が明確に伝わりません。Ⅱのように短い文を書くと内容が頭の中に「スッ」と入ってきます。つまり、内容が明確に伝わります。

また、文を短く書くことで解答として書ける内容が増えます^{注2)}。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「記述式試験の合格に必要な重要なキーワードは“短”」の資料を参照のこと

注2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「短い文で解答を書く目的」の資料を参照のこと

2. 昼休みに行うトレーニングとは

「文を短く書く力を鍛えるためのトレーニング^{注3)}」の中で、文を短く書く力を鍛えるためのトレーニングを日常業務の中で行う方法を解説しました。以下の内容です。

日常業務の中で作成した技術文書に対して、内容の確認のためにこの技術文書を読み返したとき「この文は長いな」と思ったところを対象にしてこの文が短くなるように修正すること（元の文の文字数以下になるように文を修正すること）

昼休みに行うトレーニングとは、『この文は長いな』と思ったところを文が短くなるように修正すること（確認と修正の作業）を昼休みに行うことです。確認と修正の作業は、記述式試験で文を短く書くためのトレーニングとして行います。「昼休み＝受験勉強の時間」と考えれば「確認と修正の作業は昼休みの中で行う」という考え方ができます。

「文を書く」⇒「文字数を確認する」⇒「確認した文字数以下になるように文を修正する」

の繰り返しで文を短く書く力を鍛えることができます。このような内容のトレーニングを昼休み行うことで昼休みの中で短い文を書く力を鍛えることができます。

技術文書を書いているときに確認と修正の作業を行っても昼休みにこれを行ってもどちらでも構いません。重要なことは、「確認と修正の作業を必ず行う」ということです。

注 3): 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「文を短く書く力を鍛えるためのトレーニング」の資料を参照のこと

【参考図書】

森谷仁著, 「マンガでわかる技術文書の書き方」, オーム社, 令和4年3月25日

以 上